

錦上添花雪中送炭

第60回

津田電気計器 株式会社

代表取締役社長 近間 大志 氏

連載

私が大切にしている言葉



「锦上添花雪中送炭」とは、中国の故事成語で、「華やかな場に花を送るのではなく、厳しい雪の日に炭を送る行いこそが真の友である」という意味の言葉です。

ビジネスにおいて好不調はあるものです。順調な時、周囲の人は耳に心地良いことを口にします。不調に陥った時は多くの人は手のひらを返します。苦境に立たされるとき、そばにいてくれる人こそ真の友人です。甘言に釣られたり、甘言を弄したりするのでなく、諫め叱咤してくれる人を大事にし、また自らも良き友人でありたいと思っています。

弊社のミッションは鉄道や電力など社会の基盤となるライフラインを支え社会に貢献することです。決して目立つことはありませんが、人々の日常生活を支える良き友人であり続けたいと願っています。

会社概要



マスコットキャラクター
め～たん



津田電気計器株式会社

安心の1日を、つぎの100年も。
～制御・計測装置で鉄道の安全を支える～

- ◆設立 1921（大正10）年4月
- ◆本社所在地 〒562-0045 大阪府箕面市瀬川4丁目4番10号
- ◆事業内容 電鉄分野の電子制御機器・計測機器の製造、販売
電力分野の電子計測機器の製造、販売
- ◆資本金 1000万円
- ◆U R L <https://www.tsuda-em.co.jp/>



この連載は、人それぞれが「大切にしている言葉」を、経営者のみならずさまざまな立場の方から、エピソードを交えてご紹介いただくものです。